

讀賣新聞

2006年(平成18年) 4月24日 月曜日

発行所
読売新聞大阪本社
第19131号

〒530-8551
大阪市北区野崎町5-9
電話 (06) 6361-1111(代)
<http://www.yomiuri.co.jp/>

DVD-ROM「ロシアの火山と氷河と洞窟」

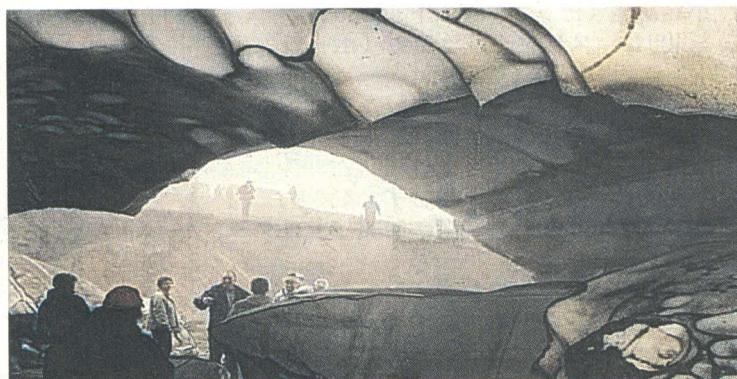
カムチャツカ半島の神祕紹介

大阪経済法科大「環境地圏研究会」

世界各地の洞窟を研究している沢歎・大阪経済法科教授ら同大学の「環境地圏研究会」が、ロシア極東・カムチャツカ半島で行った第一次調査の成果をDVD-ROM「ロシアの火山と氷河と洞窟」にまとめた。

日本を含む環太平洋火山帯にある同半島には、29の活火山、160を超える火山が連なり、火山活動で形成された洞窟の宝庫でもある。東西冷戦を背景に立ち入りが長く制限されたことなどから、本格的な学術調査はまだ少ない。

同会や日露の研究者14人で調査団を結成。一昨年



ゴレーリ火山の雪渓洞窟

8月に1週間かけ、半島南部のゴレーリ火山(標高1829m)、ムトノフスキーハル(同2332m)などで、溶岩洞窟や、氷河や雪渓にできた洞窟、ゲーゼル渓谷で間欠泉などを調査した。

写真約120点や溶岩の成分分析表、洞窟の実測図、136項目の用語解説を収録。二十数年間に5か国の洞窟200か所以上を見てきた沢教授は、「地図にも載っていない場所で出会った洞窟にはさらに深い神秘性があった。原生の自然環境を多くの人に知ってほしい」と話す。近く、第2次調査の時期について検討を始める。

一枚800円(送料別)。問い合わせは、同大学(☎ 0729・41・8211)の出版部へ。